



福岡市

概要版

水道 長期ビジョン 2028

平成29⁽²⁰¹⁷⁾年度

↓
平成40⁽²⁰²⁸⁾年度

— みなさまから信頼される水道を目指して —



近代水道百選に
選ばれた曲淵ダム
(大正12年竣工)



平成29(2017)年2月
福岡市水道局

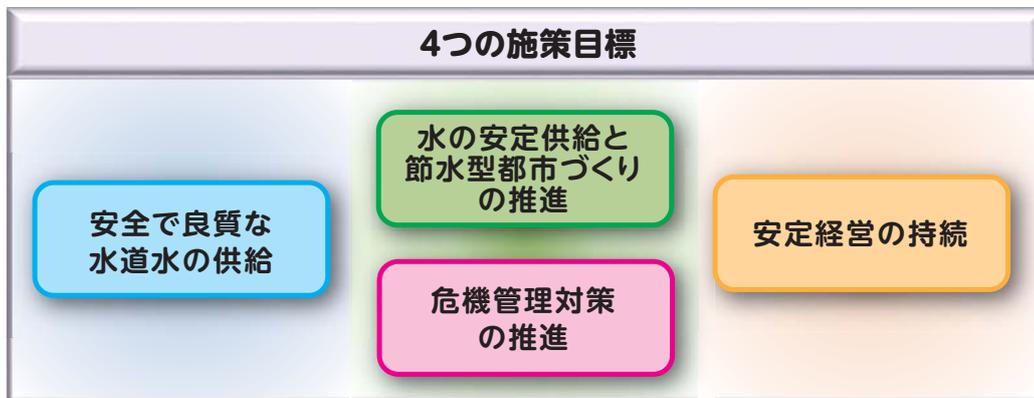
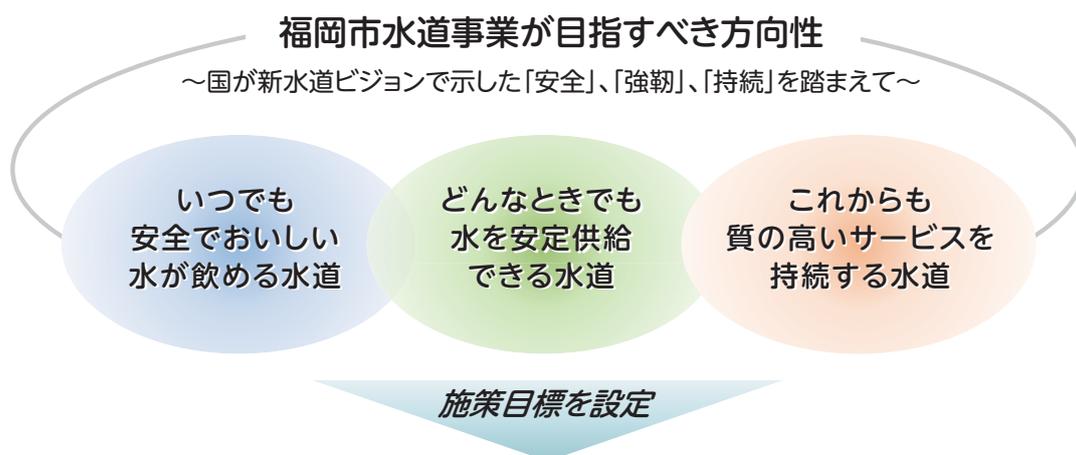
福岡市水道長期ビジョン2028について

将来にわたり安全で良質な水道水の安定供給とそれを支える安定経営を持続し、水道事業を健全な形で次の世代に引き継いでいくため、平成29(2017)年度から平成40(2028)年度までの12年間の計画期間として、「福岡市水道長期ビジョン2028」(以下「長期ビジョン」という。)を平成29年2月に策定しました。

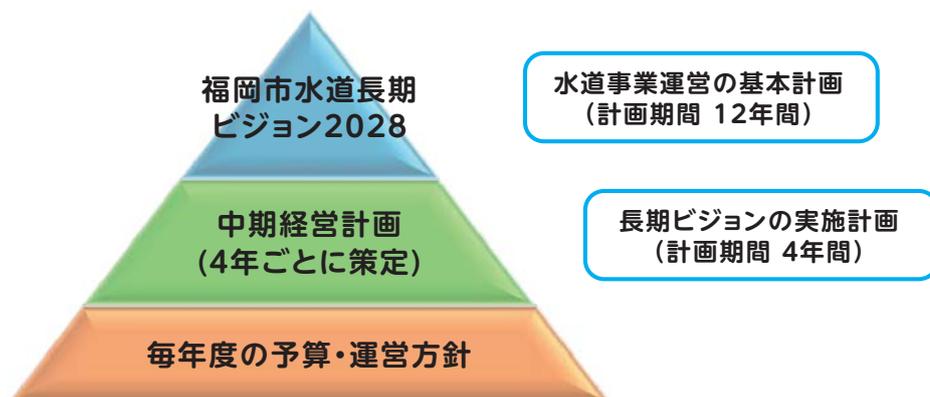
長期ビジョンにおいては、「みなさまから信頼される水道 ～安全で良質な水の安定供給～」を基本理念として、取り組むべき4つの施策目標を設定しています。

基本理念

みなさまから信頼される水道 ～安全で良質な水の安定供給～

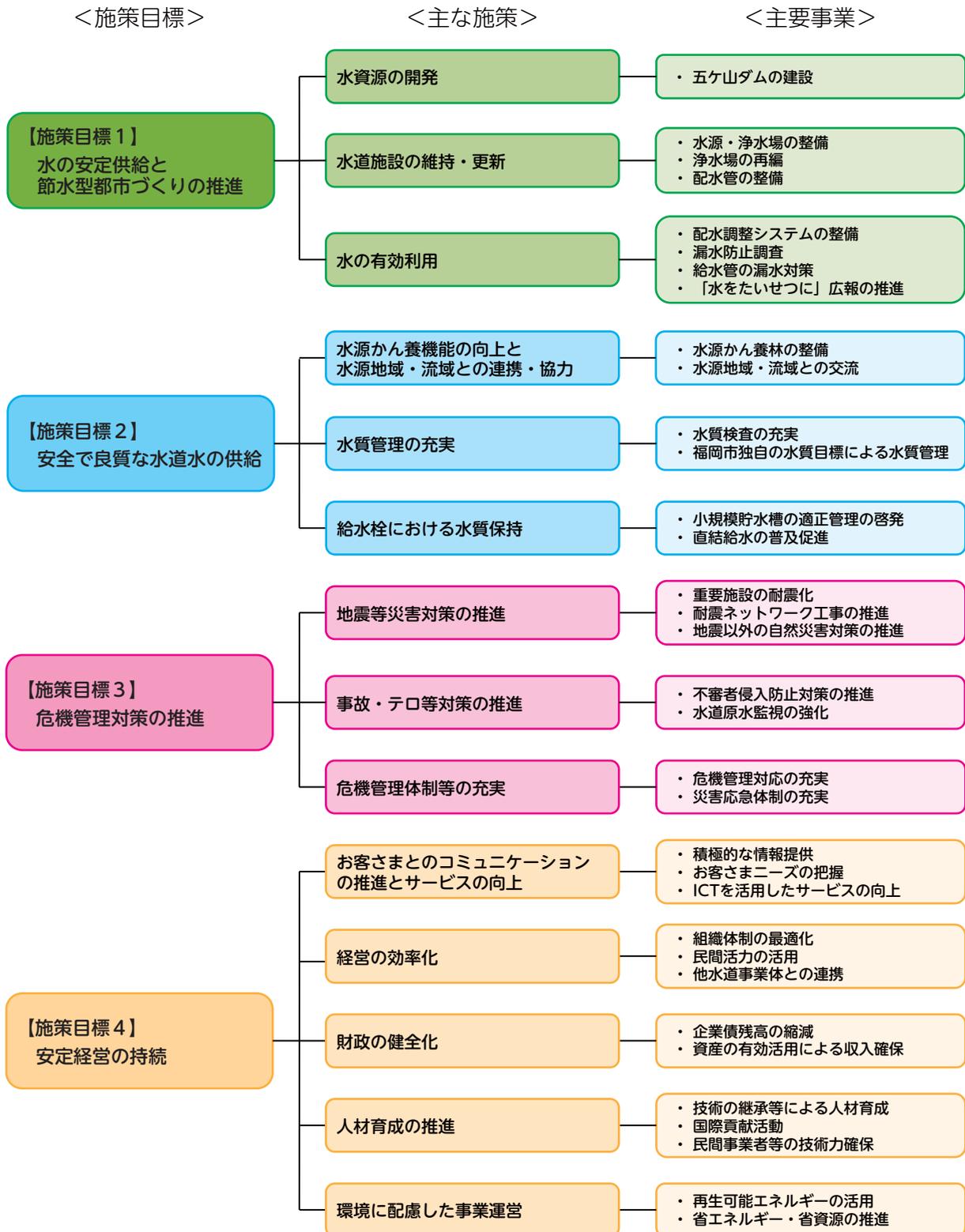


計画の位置付け



施策体系

施策目標の達成に向け、優先的・重点的に取り組んでいく「主な施策」及び「主要事業」を体系的に整理しています。



計画期間中の取組みのポイント(施策目標1、2)

施策目標1 水の安定供給と節水型都市づくりの推進

■ 五ヶ山ダムの建設 H29年度完成予定

- 渇水対策容量(1,310万m³)を持つ五ヶ山ダム建設(県施工)



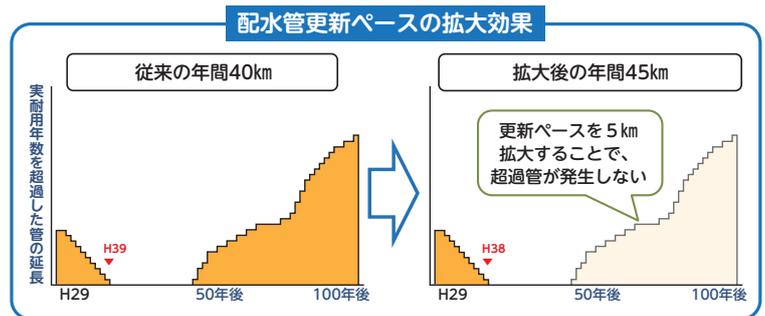
福岡県 提供
五ヶ山ダム 完成イメージ図

■ 浄水場の再編

- 高宮浄水場の老朽化を契機に浄水機能を乙金浄水場に統合
- 高宮浄水場は、新たに緊急時給水拠点機能を持つ配水場として再整備

■ 配水管の整備 拡充

- 配水管の更新ペースを従来の年間約40km→約45kmに拡大
- 腐食性の高い土壤に埋設されているポリエチレンスリーブ非装着管は平成38年度までに更新
- その後は実質的な耐用年内に順次更新可能



■ 漏水防止調査

- 公道部に埋設された配水管及び給水管の計画的な漏水調査を継続実施

■ 「水をたいせつに」広報の推進

- 「限りある資源である水をたいせつに使う」心がけが福岡市民(社会)全体に継承され続けるよう「水をたいせつに」広報を継続実施

● 主な成果指標

成果指標	現状値	目標値
漏水率	2.3%	2.0%

施策目標2 安全で良質な水道水の供給

■ 福岡市独自の水質目標による水質管理

- 国の水質基準等よりも厳しい独自の目標で水質管理

■ 国の基準等より厳しい市独自の水質目標(一例)

項目	市独自の目標
におい 残留塩素	国の基準等 0.1mg/L以上
	市の目標値 0.3mg/L以上
	1.0mg/L以下
	0.5mg/L以下 カルキ臭抑制

■ 小規模貯水槽の適正管理の啓発 拡充

- 管理状況が未把握となっている施設の現地調査による状況確認及び指導・助言
- これまでの調査で判明した管理が不十分であった施設に対するフォローアップの実施 新規

- ・ 改善状況の現地確認
- ・ 未改善施設への再指導

■ 直結給水の普及促進

- じゃ口まで「安全でフレッシュな水道水」を直接お届けできる直結式給水の普及促進
- 教育委員会と連携し、学校施設の直結給水化も順次実施

● 主な成果指標

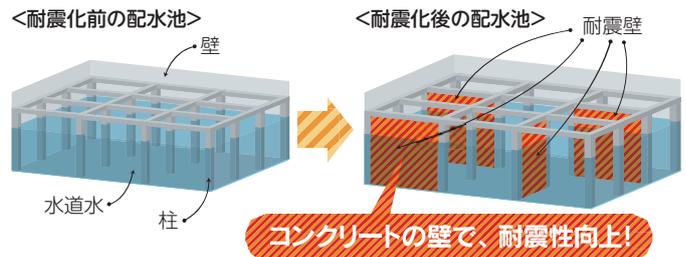
成果指標	現状値	目標値
残留塩素濃度目標の達成率	82.8%	85%
管理が不十分な施設へのフォローアップ実施率	—	100%
直結給水率	48.7%	60%

計画期間中の取組みのポイント(施策目標3、4)

施策目標3 危機管理対策の推進

■ 重要施設の耐震化

- 配水池などの重要な土木構造物を耐震化
H32年度完了予定
- 配水管などの管路を計画的に耐震化
※ 新設・更新の際は全て耐震管を使用

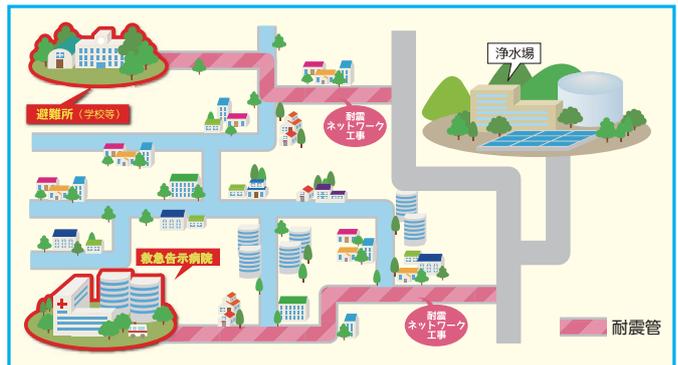


■ 耐震ネットワーク工事の推進 拡充

- 避難所や病院等への給水ルート(配水管)を優先的に耐震化 H36年度完了予定
- 天神駅、博多駅、福岡空港など対象施設を拡大(247→256施設)

対象施設	施設数
収容避難所(小中学校など)	136施設
地区避難所(公園、主要駅など)	64施設
救急告示病院及び官公立等主要病院	38施設
復旧拠点事務所(区役所、空港など)	18施設
計	256施設

■ 耐震ネットワーク工事(イメージ)



■ 災害応急体制の充実 拡充

- 「福岡市水道局災害応急対策計画」を見直し、受援も含めた災害応急体制を整備
- 給水基地を2箇所増設 H36年度完了予定

● 主な成果指標

成果指標	現状値	目標値
管路の耐震化率	56.6%	68%

■ ICTを活用したサービスの向上 新規

- 平成30年度から水道料金等のWEB照会サービスなどを開始

新たなサービス	内容
・水道使用量・水道料金のWEB照会サービス	
・口座振替、クレジットカード継続払い申込み手続きのWEB受付サービス	

■ 企業債残高の縮減

- 企業債の新規借入額を元金償還金の範囲内に抑制し、企業債残高を縮減

■ 技術の継承等による人材育成

- OJT や福岡市水道技術研修所における実技研修の継続実施

■ 国際貢献活動

- 途上国への職員派遣による現地指導や海外からの研修員受入れ等により、現地の給水環境を改善
- 活動を通じた職員の人材育成・地場企業等への海外ビジネス機会の提供

■ 再生可能エネルギーの活用 拡充

- 曲淵ダムに小水力発電設備(出力91kW)を平成29年度に導入

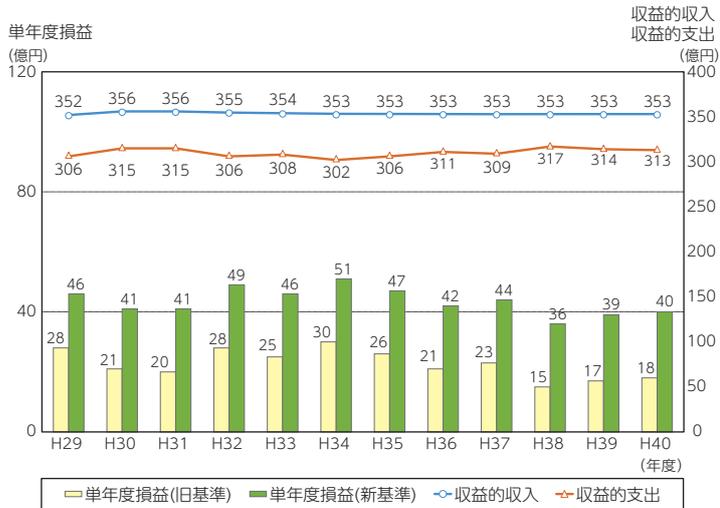
● 主な成果指標

成果指標	現状値	目標値
ICTを活用したサービスの新規利用登録件数	-	40万件
企業債残高	1,252億円 (H28年度末)	1,000億円以下
再生可能エネルギー発電出力合計	194kW	285kW

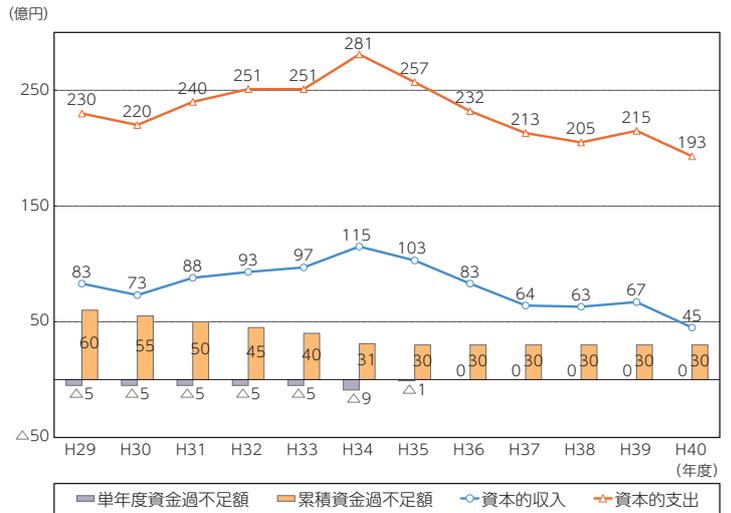
施策目標4 安定経営の持続

財政収支見通し

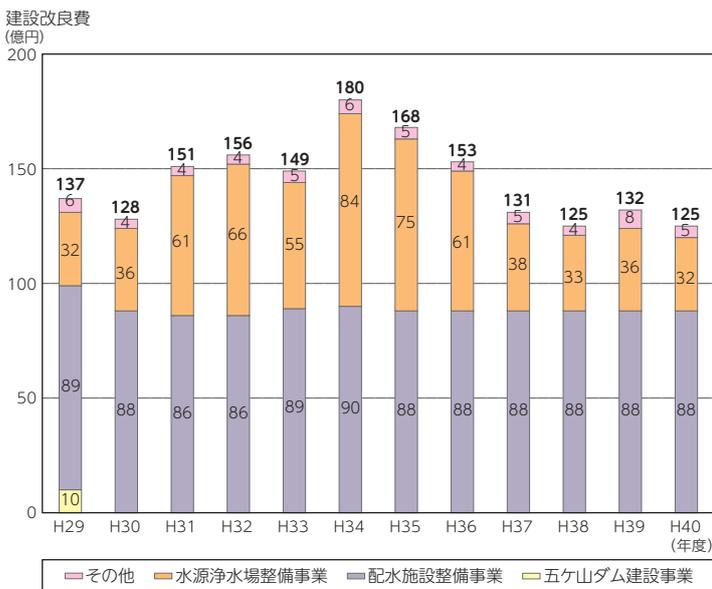
収益的収支の見通し



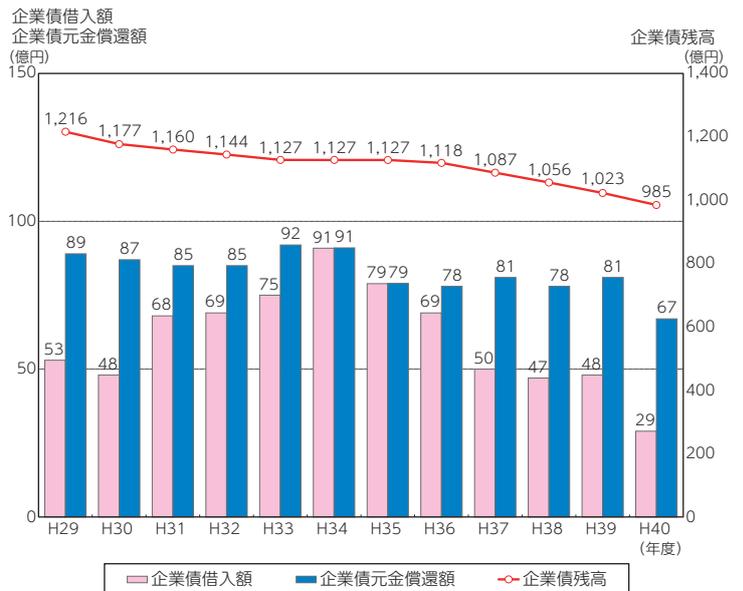
資本的収支及び資金の見通し



建設改良費の見通し



企業債残高の見通し



福岡市水道長期ビジョン2028(概要版)



福岡市水道局総務部経営企画課(平成29(2017)年2月)

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目28-15

TEL 092-483-3107 FAX 092-482-1376

E-mail k-kikaku.WB@city.fukuoka.lg.jp

http://www.city.fukuoka.lg.jp/suidou/